

京都大學經濟學會

經濟論叢

第六十九卷 第一・二號

理論經濟學特集

(共の一)

ケインズの費用圖式	青 山 秀 夫
有効需要と雇傭	鎌 倉 昇
同次性の公準とセイの公準とは等値でない	今 川 正
完全雇傭と經濟安定政策	清 水 義 夫
現代イギリス經濟學界の動向	田 口 芳 弘

昭和二十七年二月

記事

經濟學部

○教授喜 恭彦氏は昭和二十六年十二月二十一日付を以て經濟學博士の學位を授與せられた。

○教授穂積文雄氏は昭和二十七年一月十日付を以て經濟學部長に補せられ、教授岸本誠二郎氏は依願經濟學部長を免せられた。

○經濟學部和報 (Kyoto University Economic Review)

經濟學部紀要は第十九卷一號を刊行後休刊してしたが、第二卷一號として昭和二十六年より復刊し現在途次の論稿を以て刊行した。(丸善發賣)

Vol.20 No.1(April 1950) (Price ¥ 210.00)

Mathus's Theories in Classical Economics prof. S. Kishimoto
Foreign Capital and the Japanese Capitalism
after the World War I Prof. Y. Horie

Vol.20, 1 No. 2 (October 1950.) (Price ¥ 300.00)

System of Shipping Theory Prof. S. Sawa
Concept of Science in Max Weber Prof. Y. Deguchi

Vol. 21 No. 1. (April 1951) (Price ¥ 300.00)

The Life Structure of the Japanese people
in Its Historical Aspects Prof. Y. Horie

On the theory of International Trade Prof. K. Matsui

A Short History of the Labour
Movement in Japan Assst. Prof. E. Kishimoto

經濟學會

○大會 昭和二十六年度經濟學會大會は十一月十六・七・八の三日間に亘つて開催せられ、第一日は公開講演會、第二日は研究報告會、第三日は見學並びに懇親會が催された。

第一日 公開講演會は十一月十六日(金)午後一時より法經第四教室に於て左記順序によつて開催、現時に於て最も關心深いと思われる二つの問題に對する兩講師の蘊蓄の深きに、熱心に耳を傾ける參會者多數見かけ特に學生が多かつた。

一、接 榘 經濟學部長 岸本誠二郎氏

一、中共の土地制度

京都大學人文科學研究所

講 師 天野元之助氏

一、我國の當面する金融問題と今後の金融政策

大阪銀行社長 鈴木 剛氏

尙午後五時よりC・I・E提供の映畫を寫して各參會者の勞を療し、午後六時盛況裡に閉會した。

○二日 研究報告會は十七日(土)午前十時より西部構内法醫第五教室に於て左記の順序によつて開催せられた。

一、貨幣的循環の事前事後分析

和歌山大學助教 馬場 正雄氏

一、資本主義生産様式の端緒

京都大學助教 堀江 英一氏

一、絶對主義と商業資本

ジョン・ウイラーの「商業論」について

和歌山大學講師 角山 榮 氏

一、山村の構造 — 奈良縣野迫川村 —

京都大學教授 山岡 亮一氏

一、完全雇傭政策と經濟安定對策

金澤大學 助手 清水 義夫氏

遠路來學の會員多數の參集を得、眞摯な研究發表と熱心な討論に時の移るを知らず、午後六時過ぎ盛況裡に閉會した。尙その節學會編集になる「京都大學經濟學會員名錄」を參會者に贈呈した。

○三日 見學並びに懇親會 修學院離宮見學の決定を變更して秋の嵯峨野を觀光パスで巡回。午前十時本學部前を出發一路嵯

峨野街道を去りゆく秋色を惜みつつ嵐山着、休憩後落柿舎へ赴き去來を偲びつつ少憩して一路懇親會場へ車を飛ばした。三高會館で懇親會を開き、參會者約五十名各々自己紹介をかね抱負、希望等を述べあい和氣藹々裡に午後四時散會した。